

第17回 神楽坂「感染症にまつわる数理」勉強会

主催：東京理科大学 研究推進機構 総合研究院

「数理解析連携研究部門」

多層化する感染症研究： 数理疫学からエージェント ベースモデル（MIGHTI）へ

山本奈央氏

New York University, Grossman School of Medicine

日時：2025年12月22日（月）

14:00－16:15

場所：東京理科大学 神楽坂キャンパス

8号館4階842議室&オンライン（Zoom）

個々の特徴、行動、接触構造、社会環境の違いを踏まえて感染症をより深く理解するには、均質集団を前提とした従来の数理モデルだけでは捉えにくい側面がある。

本講演では数理疫学の基礎とエージェントベースモデル（ABM）の考え方を紹介し、公衆衛生における多層的モデリングの有用性を述べる。

さらに、HIV や慢性疾患、社会的決定要因を統合的に扱う MIGHTI の構造と応用例を示す。

問い合わせ先：江夏洋一（yenatsu@rs.tus.ac.jp）